

第46回夏季大学「北極温暖化と異常気象」開講のお知らせ

教育と普及委員会

主催：(社)日本気象学会

共催：国立極地研究所

後援(予定)：気象庁, 日本地学教育学会, (財)気象業務支援センター, (社)日本気象予報士会

日本気象学会は、最新の気象学の普及を目指して、小・中・高等学校の先生や、気象を学ばれている学生・一般の方を対象に毎年夏季大学を開催しています。

今年のテーマは、「北極温暖化と異常気象」です。近年、地球温暖化と言われていますが、北極では海水が大きく減少するなど、温暖化傾向が顕著です。また、記憶に新しい昨冬の日本での大寒波や豪雪だけでなく、毎年のように世界各地で発生する異常気象の原因の一つとして、北極の影響が議論されています。新聞や雑誌の紙面では、「北極振動」や「北極域の海水の減少」などの文言を目にすることが増えてきており、一般の方々の「北極」に対する関心は高まっていると言えます。このような背景から、今年度の夏季大学では「北極」をキーワードとして、最新の理論、観測技術やそれらを通じて得られた知見を、講義を通して学びます。

○日程、講義題目、講師

2012年8月5日(日)

10:00~11:30

「北極域の気候変動と中高緯度への影響」

山崎孝治 (北海道大学)

11:30~13:00

「北極圏の温暖化と雪氷変動」

榎本浩之 (国立極地研究所)

14:00~15:30

「地上気温と降雪」

平沢高彦 (国立極地研究所)

15:30~17:00

「北極からみた「地球温暖化」の真実」

堀 正岳 (海洋研究開発機構)

2012年8月6日(月)

10:00~11:30

「極域・寒冷域の気候変動と日本の異常気象」

高谷康太郎 (海洋研究開発機構)

11:30~13:00

「極地の雲・エアロゾルと気候影響」

塩原匡貴 (国立極地研究所)

14:00~15:30 国立極地研究所施設見学

○講義会場

国立極地研究所(東京都立川市)

会場の地図は、国立極地研究所ウェブサイト(<http://www.nipr.ac.jp/access.html>)をご覧ください。

○募集対象人数

定員70名程度

○受講料(消費税含む)

4,000円(学生2,000円)

- ・お弁当を注文される場合は、+1000円(2日間分)となります。1日のみの場合も返金はいたしません。
- ・参加申込受付後、郵便口座をお知らせしますので、そちらに受講料の振込をお願いします。

○講義資料

受講者の方には、事前に講義レジュメをオンライン配布します。また、開催後に、講義まとめ録を「教育と普及委員会」ウェブサイトに掲示する予定です。同サイトには、過去の資料が公開されていますので、ご覧ください。

○参加申込方法

ウェブ・フォームによるオンライン受付を原則とさせていただきます。詳細は、「教育と普及委員会」ウェブサイト(<http://www.metsoc.or.jp/kyoikuhukyu/index.html>)をご覧ください。インターネットへの接続環境をお持ちでない方は、下記事務局にお問い合わせください。

【重要】受講料の振込期限を『2012年7月20日(金)』とします。期限までに受講料の支払いがなければ、受講できません。お早めに支払いをお願いします。

○参加申込開始日

2012年6月18日（月）

定員になり次第，締め切らせていただきます。

○お問い合わせ先

気象庁内 日本気象学会事務局

Tel：03-3212-8341（内線2546）

Fax：03-3216-4401

